

2019年度 環境に関する市民意識調査の結果（概要）

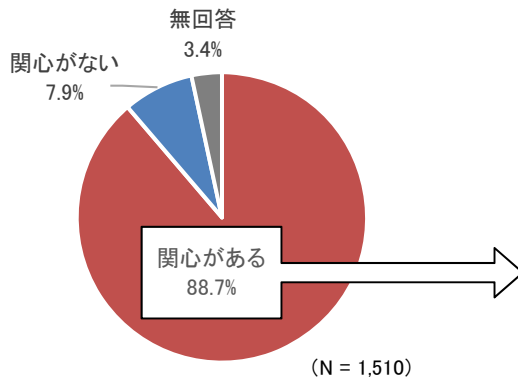
横浜市では、2019年7月に市内在住の18歳以上の男女3,000人を対象に環境に関する意識調査を実施しました。調査結果は、環境管理計画や市の中期4か年計画に掲げた目標・施策の進捗評価や環境施策の基礎資料として活用します。

◆調査結果

1 環境や環境の取組への関心について

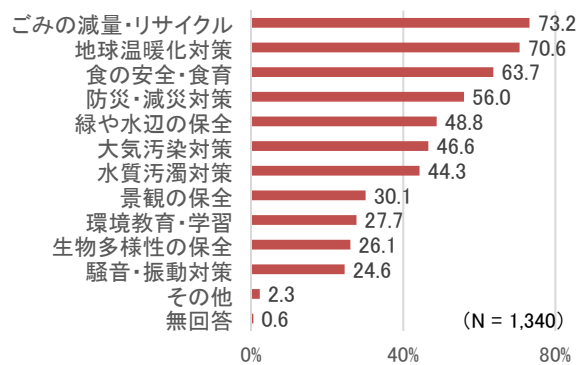
環境や環境の取組について、「関心がある」と答えた人の割合は88.7%となっています。「関心がある」と回答した人に対し、関心がある項目を聞いたところ、「ごみの減量・リサイクル」や「地球温暖化対策」、「食の安全・食育」、「防災・減災対策」への関心が比較的高くなっています。

問1 環境や環境の取組に関心がありますか



問1-A 関心がある項目を教えてください

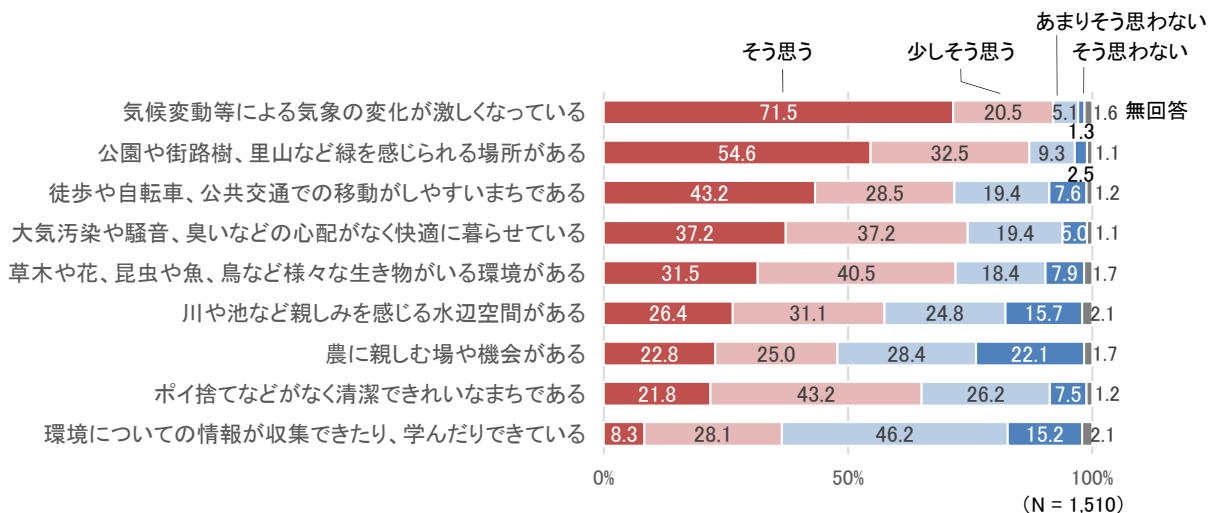
【問1で「関心がある」と答えた人のみ、複数回答】



2 身のまわりの環境について

身のまわりの環境についてどのように感じているかの設問では、「気候変動による気象変化が激しくなっていると感じる」について、「そう思う」・「少しそう思う」と回答した人の割合が合わせて92.0%と最も高い割合でした。

問4 あなたは次にあげる身のまわりの環境についてどのように感じていますか

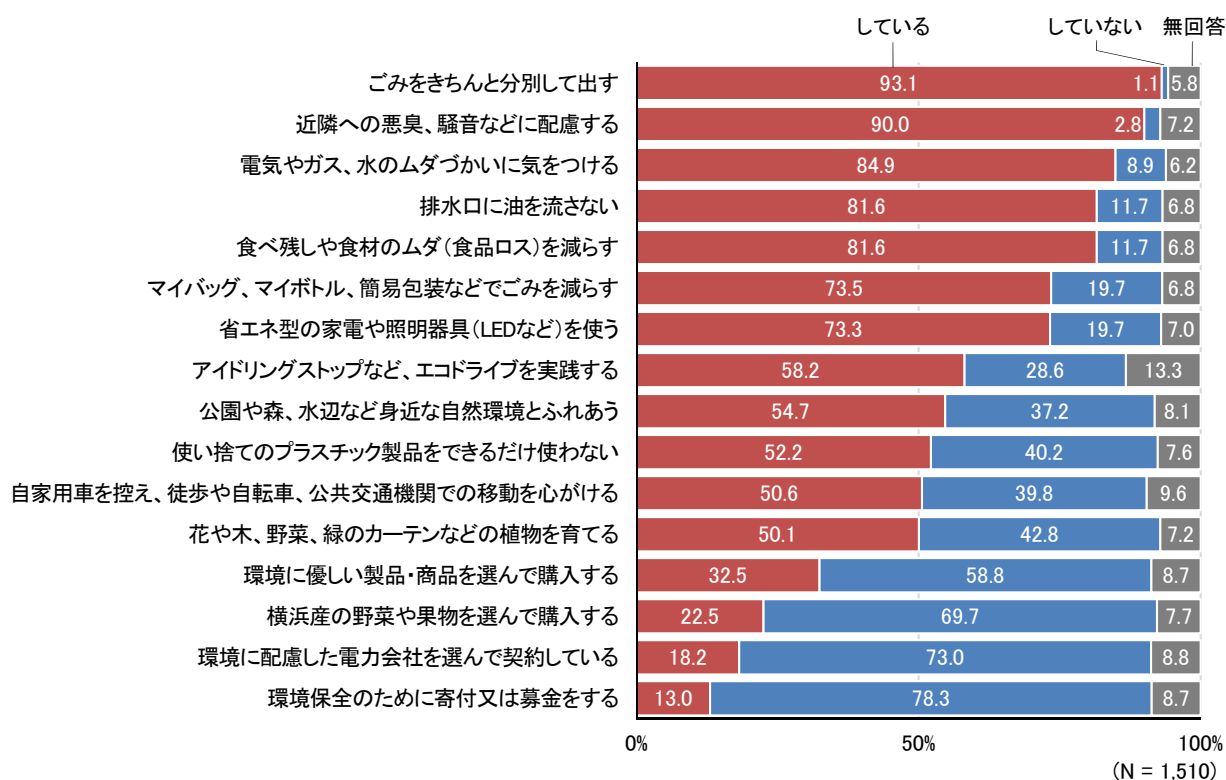


3 環境にやさしい行動（＝環境行動）の実践状況について

選択肢にあげた環境行動のうち、「ごみをきちんと分別して出す」や「近隣への悪臭、騒音などに配慮する」といった暮らしの中で日常的に取り組める環境行動は約9割の人が実践していると回答しました。一方で、「環境に配慮した電力会社と契約している」や「環境保全のために寄付又は募金をする」という、より自発的な選択が必要な行動については、他の行動と比べ実践率が低い状況です。

近年、問題視されているプラスチックによる環境への影響について、関心がある人は9割を超えています。「関心があり、問題解決に向けてできることをしている」が40.7%いる一方で、「関心はあるが、特に何もしていない・何をしたらいいかわからない」が53.2%となっています。

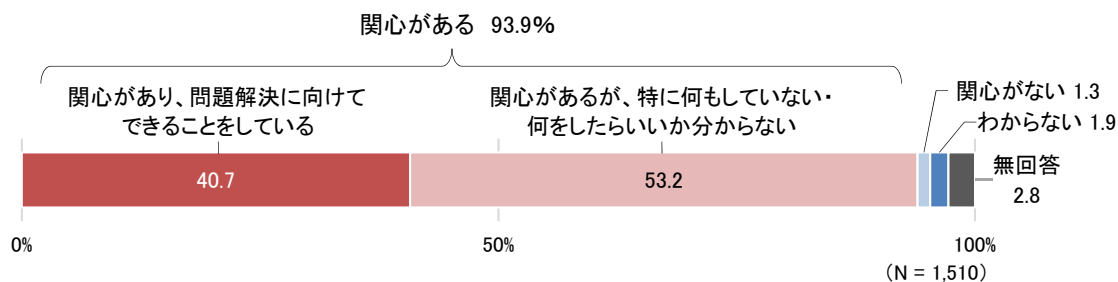
問2 あなたは普段、次にあげる個人でできる環境行動をしていますか



※「アイドリングストップなど、エコドライブを実践する」は「運転しない」を除外している。(N=913)

「自家用車の利用を控え、徒歩や自転車、公共交通機関での移動を心がける」は「車は所有していない」を除外している(N=1,097)

問9 近年、問題視されているプラスチックによる環境への影響の問題に関して、あなたに最も近いものは次のうちどれですか(○はいくつでも)



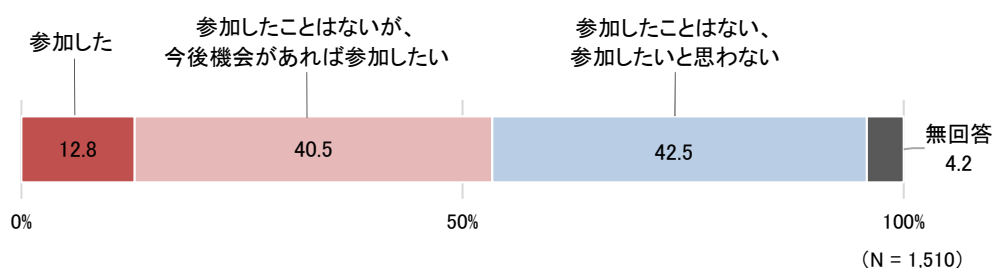
4 地域の環境活動や環境活動団体への参加について

ここ1年間に地域の環境活動に参加したことがあるか聞いたところ、1年以内に「参加した」人の割合が12.8%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」人の割合が40.5%でした。

「参加した」もしくは「参加したことはないが、機会があれば参加したい」と回答した人に対し、参加した活動・参加してみたい活動を聞いたところ、「地域の清掃・美化活動」が50.2%で最も多くなっています。

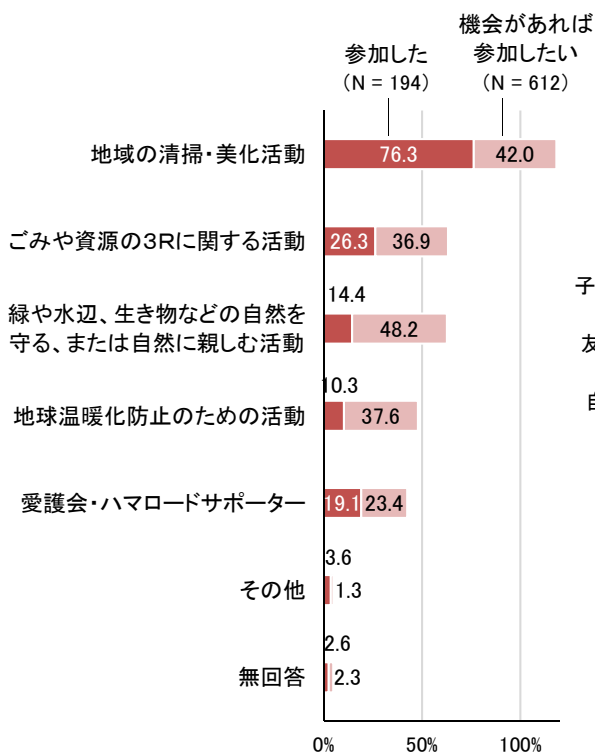
「参加した」人が環境活動に参加したきっかけとしては、「自治会・町内会など地域活動の一環として」が72.7%で最も多く、次いで「環境を守ることになるから」「興味・関心があったから」、「健康づくりになるからから」と続いています。

問3 あなたは、ここ1年間に、地域の環境活動や環境活動団体に参加したことがありますか



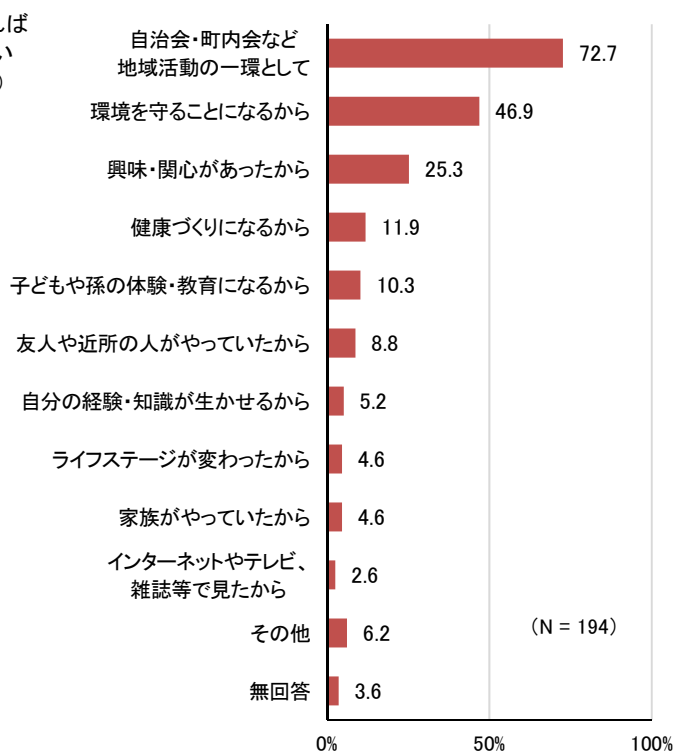
問3-A どのような活動に参加しましたか、もしくは参加してみたいですか

【問3で「参加した」、「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」と答えた方のみ、複数回答】



問3-B 地域の環境活動や環境活動団体に参加したきっかけを教えてください

【問3で「参加した」と答えた方のみ、複数回答】



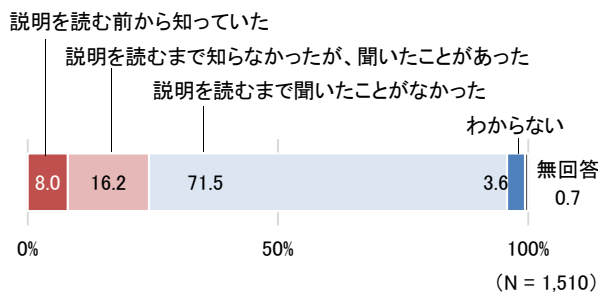
5 市の環境施策の認知状況について

横浜市の温暖化対策の目指すゴールである「Zero Carbon Yokohama」については、施策の意味まで知っているという人の割合は8.0%でした。

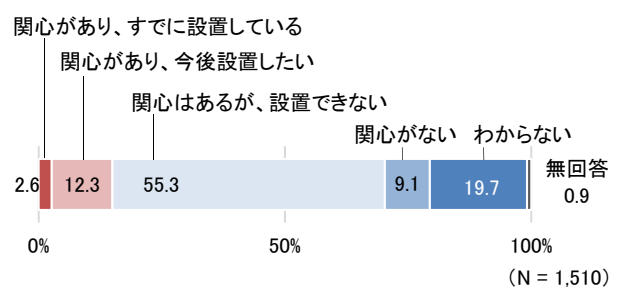
水循環の再生にもつながる、「雨水浸透ます」や「雨水貯留タンク」の設置については、「既に設置している」人の割合が2.6%、「今後設置したい」人の割合が12.3%でした。

「生物多様性」の言葉の意味は「説明を読む前から知っていた」人の割合が38.3%で、「生物多様性の恵み」として知っているものとしては、「水や空気をきれいに保つ」、「植物の光合成により酸素を供給する」、「森が洪水・土砂災害を防止する」がそれぞれ6割を超えています。

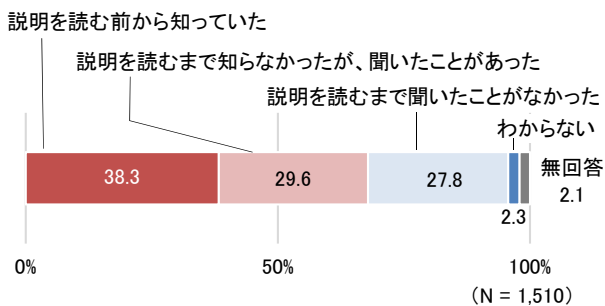
問5 「Zero Carbon Yokohama」を掲げて温暖化対策を推進していることを知っていましたか（〇は一つ）



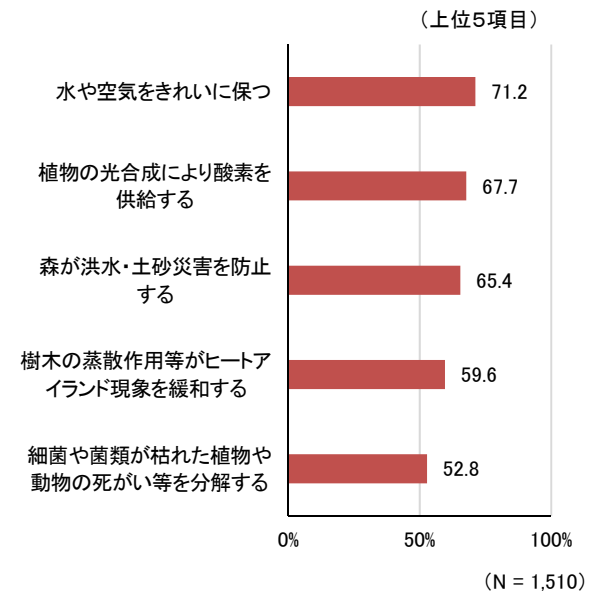
問6 「雨水浸透ます」や「雨水貯留タンク」の設置について（〇は一つ）



問7 あなたは「生物多様性」という言葉の意味を知っていましたか（〇は一つ）



問8 あなたが生物多様性の恵みとして知っているものはどれですか（〇はいくつでも）



◆調査概要

- 期間：2019年7月8日（月）
～7月25日（木）
- 対象：18歳以上の市民3,000人
（住民基本台帳から無作為抽出）
- 方法：郵送配布・回収による無記名調査
- 回答：1,510人（回収率 50.3%）

